



高山村立高山中学校

学校だより No. 5

令和6年1月8日

あけましておめでとうございます。

本年もよろしく願いいたします。

昨年末には、立派な門松が雪化粧する日が数日ありました。

昇降口前を、雪かきしていると「雪かきありがとうございます。」と声をかけられました。安全に登下校できるよう、道や歩道は地域の方にとっても綺麗に除雪をしていただいています。自分たちの生活は、見えな



いところで誰かに支えてもらっていることに感謝ですね。



「三学期がんばりたいこと」

1学年 代表生徒

私が、一・二学期を通してがんばってきたことは、生徒会活動です。私は厚生委員会で、毎週水曜日の当番を担当しています。これまで、当番活動を忘れることなく自分の役割を果たすことができました。また、当番の日欠席してしまう人がいた時には、自分のクラスの委員と協力し、その人の分の仕事をすることもできました。

しかし、それとは逆に課題だと感じていることは学習です。一学期の定期テストでは、あまり良い点数をとることができませんでした。その反省をふまえ、二学期は勉強時間を増やしてみましたが、結果につなげることはできませんでした。なので、三学期は、学習方法や取り組む時間をしっかり見直して、勉強に取り組んでいきたいと思います。また、授業で分からないところがあった時は積極的に質問し、教えてもらうことで、苦手な部分を克服していきたいです。

三学期は、二年生につながっていく大切な学期です。二年生の四月に良いスタートを切ることができるよう、生徒会活動も学習も一生懸命がんばってきたいと思います。

「三学期の抱負」

2学年 代表生徒

私は、三学期に頑張りたいことが2つあります。

一つ目は、物を大切にすることです。私は、イライラすると、物にあたってしまう事があります。机をはたいたり、椅子を蹴ったり、筆箱を投げたり、とにかく手当たり次第に当たってしま

うので、これからは物を大切にしたいです。特に机や椅子は学校の物だし筆箱も買ってもらった物なので大切にしたいです。

二つ目は、部活動に集中することです。

私は、吹奏楽部に所属しています。一年生の10月から吹奏楽を始めたので、他の二年生より入部歴が浅いですが、活動していなかった半年分を埋められるように練習したいです。今までよりもさらに練習をして、一年生を引っ張っていけるようになりたいです。

今学期は、三年生になる前の最後の学期です。勉強も部活も学校生活も最上級生になった時に困らないように準備していきたいです。



「三学期の目標」

3学年 代表生徒

私の三学期の目標は二つあります。

一つ目は、学習についてです。志望校も決まり、2月または3月には入試に臨みます。しかし、私は総合テストになってから、自分の思うような結果を出せていません。二学期の最後のテストでは、目標とする点数からかけ離れた点数を取ってしまいました。今までよりもだいぶ多く勉強していたので、その時はショックが大きかったです。そのため学習方法を見直し、最近是自己に合った学習方法を見つけ、少しでも効率よく勉強できるようにしました。その結果、以前は家での学習時間が0分の時がありましたが、今では一日に三時間以上勉強することができるようになりました。過去問を解き、ワークをやっていく中でも、だいぶ点数が取れるようになってきたと感じています。また、授業でも意識していることがあります。私は英語が苦手なので、わからないところをそのままにせず、調べたり、先生に質問するようにしたりしました。そのおかげで、最近はずっと苦手だった長文を読んでも「これ何だっけ？」とつまづくことが減ってきました。他の教科も、もう少し頑張ってお勉強に備えたいです。



二つ目は、友達との時間を大切にすることです。ほとんどの人が高山小学校から、長い人だと保育園から一緒です。高校生活はとても楽しみです。今まではずっと一緒だった友達と離れるのはさみしいです。そこで、みんなと話せるうちにたくさん話して、これから先も仲良くできるような人間関係を築きたいです。

以上の二つ以外にも意識すべきことはたくさんありますが、とにかく残り三か月の中学校生活を思い切り楽しみたいです。

＊ ＊ 三学期始業式 学校長の話 ＊ ＊

2025年という新しい年を迎え、今日から3学期がスタートします。

今年の年末年始は曜日のめぐり合わせもあり、家族や親戚等の方々と過ごす時間が例年よりはゆっくり取れた人が多かったのではないのでしょうか。さて、私の正月の楽しみの一つに箱根駅伝があります。最近では家のテレビで観戦することがほとんどになってしまいましたが、以前は毎年1月2日には横浜へ行って往路の2区を走る選手に声援を送ることを恒例にしていました。テレビで見ていた人は分かると思うのですが、沿道で声援を送る人の多さには本当に驚かされます。現地の盛り上がりは相当なものなのでその臨場感はそこでしか味わえないもので



が、あまりの人の多さに沿道から選手の姿を見ることは、なかなか大変なのが実際です。ただ、選手が走るスピード感や路面を蹴り上げる足音の力強さ等は、その場に行かないと分からない迫力というものがあるので、もし機会があればぜひ現地での観戦をお勧めします。そんな今年の箱根駅伝でもたくさんのドラマが生まれ、見ている人たちに大きな感動を与えてくれました。各校の選手はもちろん、そのチームにかかわる全

ての人の思いが込められた「襷」を、10人のランナーが気持ちを一つにして必死につないでいく姿に、勝ち負け以上の感動を覚え、多くの人たちを引き付ける魅力があるのがこの駅伝という競技だと感じています。12月に行われた全国高校駅伝では、男女ともに長野県代表の高校が優勝しましたが、今回の箱根駅伝でも長野県にゆかりのある選手が何人も出場していました。長野県は今「駅伝王国」とも呼ばれるくらいに多くのチームや選手が活躍しています。もしかしたら皆さんの中からも数年後に箱根駅伝を走る選手が出てくるかもしれませんね。

さて、3学期の始業式にあたり、今、3人の生徒の皆さんが3学期の抱負を発表してくれました。発表してくれた3人はもちろんですが、発表を聴いていた全校の皆さんの心の中にも、今年頑張りたいことや達成したいこと、叶えたい夢等、めざす自分の姿がしっかりと描かれているのだと思います。新年を迎えたこの時というのは、これまでの自分の課題を振り返りつつ、「今年こそは！」という新たな気持ちで様々なことに挑戦できる、そんな時でもあります。今、皆さんの心の中にある思いを大切に、夢と希望をもって1年の生活をスタートさせ、この2025年という年を充実した1年にしてほしいと思います。

それでは、そんな1年のスタートにあたり、皆さんに紹介したい話があります。皆さんはこの方を知っていますか。世界的にも有名なある日本の漫画家の方ですがどうでしょう。では、この方の作品を紹介します。「ああ！」という反応をしてくれている皆さんが多いのではないかと思います。この方は、世界的にも大ヒットとなった『ドラゴンボール』を描いた漫画家の鳥山明さんです。鳥山明さんの名前は分からなくても、この『ドラゴンボール』という作品を知らないという人は少ないのではないのでしょうか。単行本発行部数は世界累計2億6000万部以上を記録しています。鳥山明さんは昨年3月に病気で亡くなってしまいましたが、その時に世界中のファ



ンから悲しみの声が寄せられたというニュースを目にした皆さんも多いと思います。さて、この『ドラゴンボール』は、7つすべて集めるとどんな願いでも一つ叶えられるという「ドラゴンボール」を巡る物語です。もし皆さんが7つのドラゴンボールを集めることができ、一つ願いを叶えられるとしたら何を頼みますか？ここで何人かの人に聞いてみたいところです。以前あるテレビ番組でこの鳥山明さんとの対談が放送されていました。その中で番組のインタビュアーの方が鳥山明さんに、「も



し、ドラゴンボールを集めて願いが叶えられるならば、何を頼みますか？」と質問しました。さて皆さん、この質問に鳥山明さんは何て答えたと思いますか？この質問に鳥山明さんは、こんな言葉で答えました。「話を思いついただけで、勝手に原稿が仕上がるようになりたい。」理由は、話を考えるのは好きだがペン入れが好きではなく、原稿を仕上げることに苦労し続けているからだと答えました。『ドラゴンボール』を長期にわたり連載するにあたって、鳥山明さんがいかに苦労したかがこの言葉から感じ取れます。どれだけ才能が豊かでも、何かを成し遂げるまでの困難は誰にでも同じようにあるのですね。

さらにもう一人、この方を皆さんは知っていますか。アニメ界のレジェンドと言われる宮崎駿監督です。スタジオジブリを立ち上げ、「となりのトトロ」や「魔女の宅急便」、「もののけ姫」、「千と千尋の神隠し」等の作品を監督した世界的にも有名なアニメ監督です。この宮崎駿監督も昨年あるテレビ番組で自身の映画制作について、「めんどくさいっていう自分の気持ちとの戦いなんだよ。世の中の大事なことって、たいがいめんどくさいんだよ。」と、苦労しながら作品づくりに取り組んでいることを語っていました。それぞれの分野で力を発揮し、世界からも認められている人たちでも、日々苦労の連続であり、それでも自分の夢を実現するために努力を続けているということがこの二人の方の言葉から分かります。



努力を続けていくということは、口で言うほど簡単なことではないことは皆さんも感じたことがあると思いますが、それでも自分の夢や目標を実現していくためには、めんどくさいことや苦労を伴うことから逃げたい、楽をしたいという自分の気持ちと常に向き合っていくことが必要だということを感じました。今日からの3学期、自分の弱さや気持ちのしんどさを感じる場面があったときに、一度立ち止まったり、少し休んだりしながらも、

それでも一歩ずつでも自分の夢や目標に向かって歩みを進めていく、そんな1年のスタートにしていけたらと思います。まずは、新年を迎えたこの新たな気持ちを大切にしながら、3学期を充実した学期にしていきましょう。



高山村立高山中学校

〒382-0825 上高井郡高山村大字高井 4575

TEL 026-245-0948/050-3565-7305 FAX 026-246-5007

URL <http://www.takayama-j.ed.jp/>

担当 竹下あき子 (教頭)